



株式会社フリークアウト・ホールディングス

2019年9月期 第1四半期
決算説明資料

2019年2月7日

Section1 2019年9月期 第1四半期決算の概要

Section2 事業の進捗

- 1. 広告事業
- 2. その他重要Topic
 - ①Silverpushの関連会社化について
 - ②伊藤忠商事との業務提携について

※今回の決算説明会の内容につきましては、弊社Webサイトにて近日中に公開予定でございます。

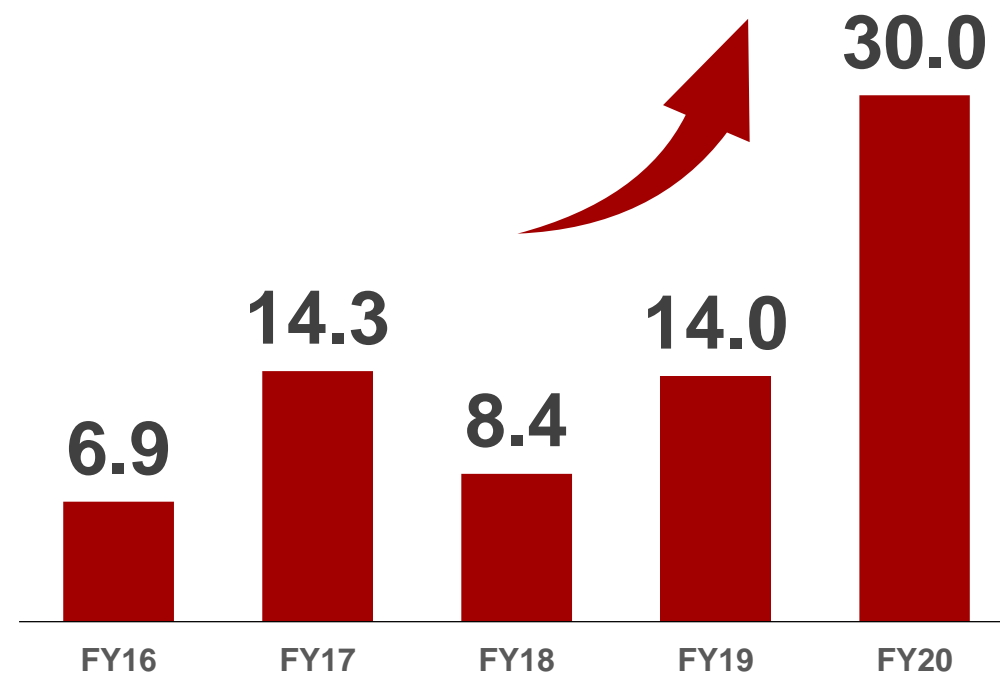
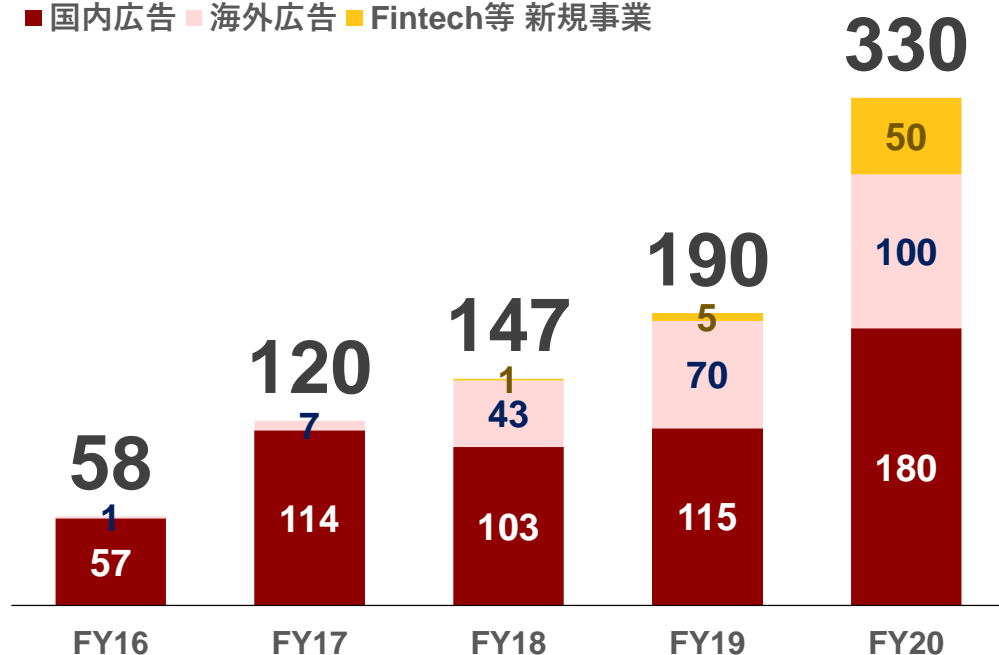
Section1 2019年度9月期 第1四半期決算の概要

FY20 売上 **330**億円、EBITDA **30**億円のグループへ
 FY19上期はFY20の数値達成に向け、引き続き投資フェイズ

売上 (単位:億円)

EBITDA (単位:億円)

■ 国内広告 ■ 海外広告 ■ Fintech等 新規事業



連結売上高

43.7億円 (前年Q比+10.1億円 +30.2% / 直前Q比+2.0億円 +4.7%)

(前年Q比)30%の大幅成長を実現

(直前Q比)海外広告事業が引き続き売上成長

連結EBITDA

1.0億円 (前年Q比▲2.2億円 ▲68.6% / 直前Q比▲0.2億円 ▲15.3%)

(前年Q比)PlaywireLLCのPL取込スケジュール、一過性コスト発生で減益

(直前Q比)同上

連結経常利益

▲0.7億円 (前年Q比▲2.5億円 / 直前Q比▲0.9億円)

(前年Q比及び直前Q比)上記に加えて年末の急激な円高に伴う為替差損
が大きく影響

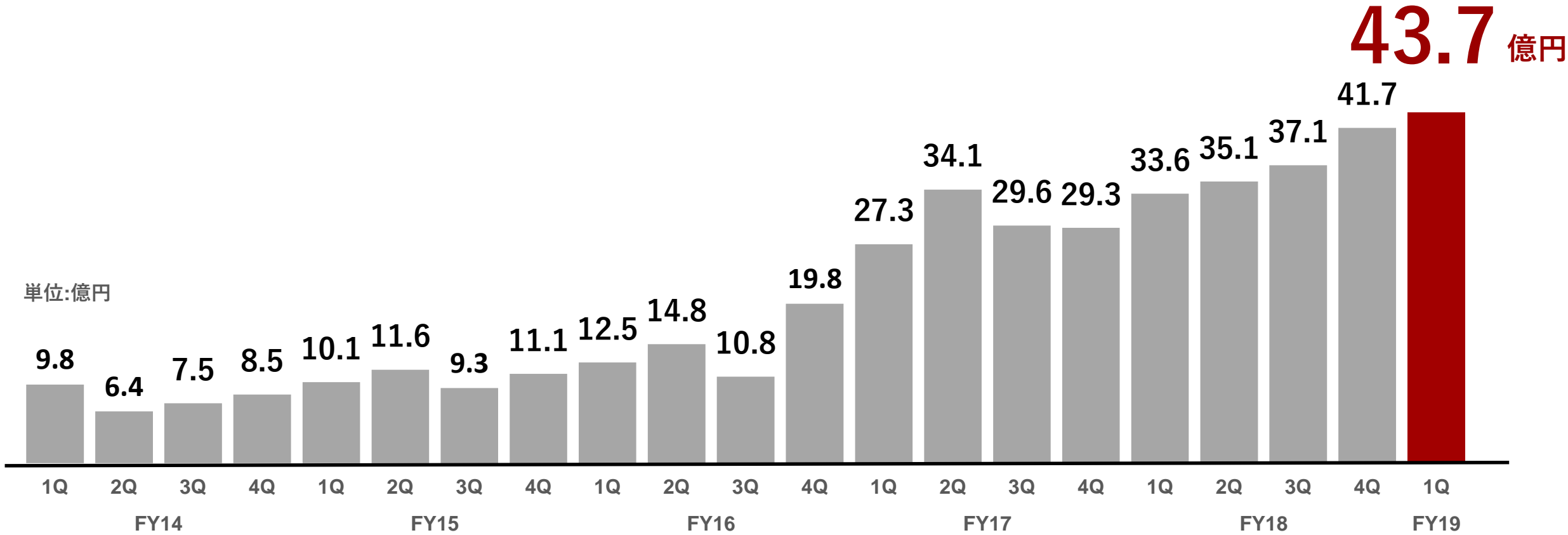
下記の影響を加味（除外）した場合の財務数値

- ① Play wire LLCの連結（1Qから連結開始と想定して影響を加味）
- ② 年末にかけての急激な円高（一過性の偶発コストのため影響を除外）
- ③ 増資・M&A・IFRS導入検討等に伴うアドバイザー費用（一過性費用のため影響を除外）
- ④ 12月末サテライトオフィス退去に伴う今後のコスト減（今後発生しないため削減効果を加味）

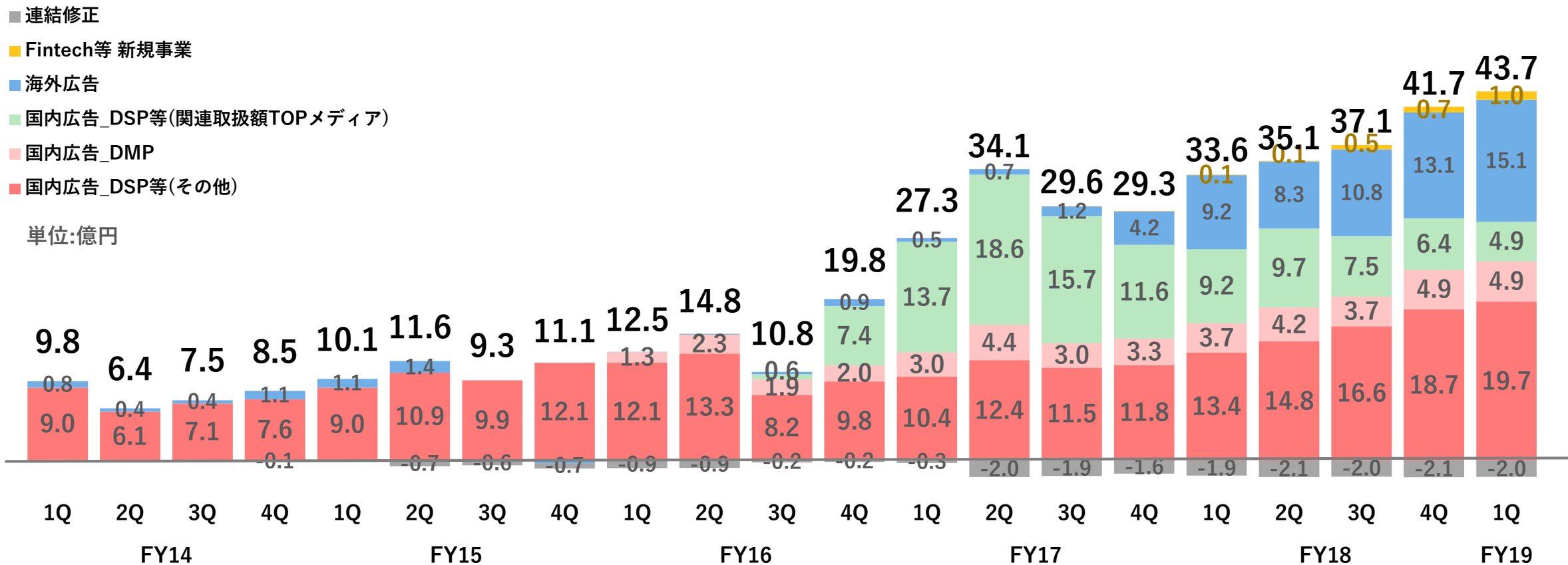
単位:億円

	1Q実績	①	②	③	④	合算
売上	43.7	13.6	—	—	—	57.3
EBITDA	1.0	2.2	—	0.2	0.2	3.6
経常利益	▲0.7	1.9	0.5	0.3	0.2	2.2
親会社に帰属する 当期純利益	▲1.5	1.1	0.3	0.2	0.1	0.2
営業利益	▲1.7	1.9	—	0.2	0.2	0.6

過去最高の四半期売上を引き続き更新



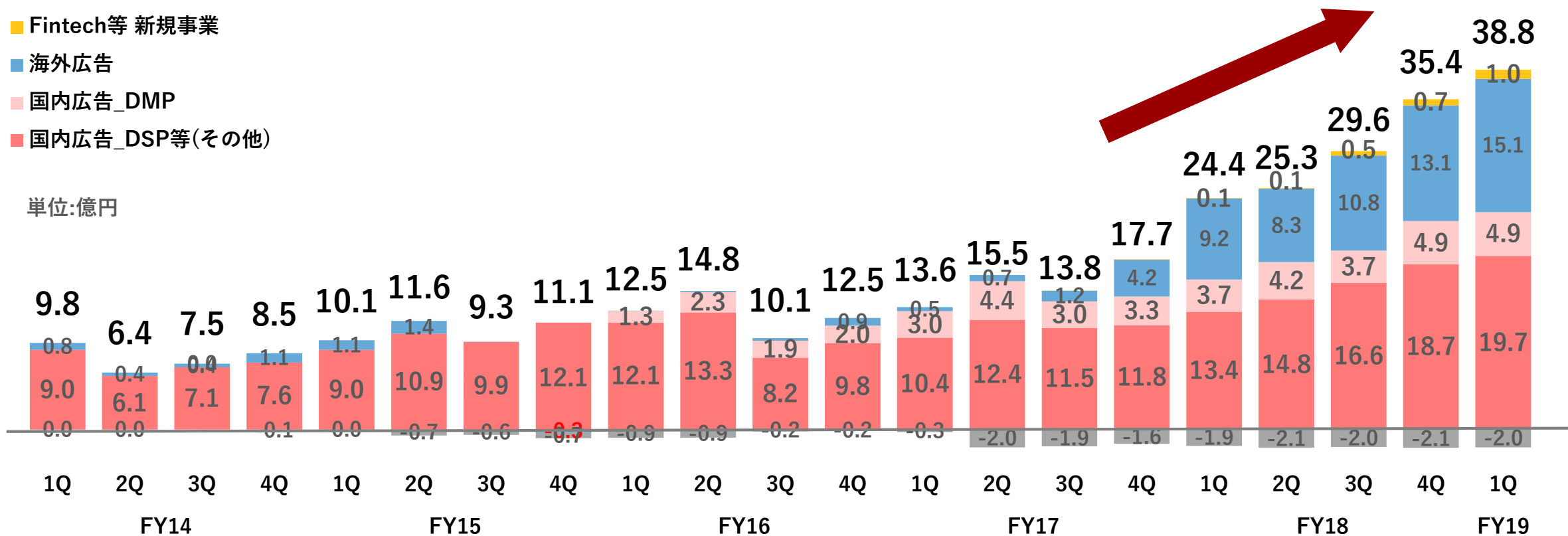
関連取扱額TOPメディアの売上が減少する一方で、海外広告を中心に順調に売上成長



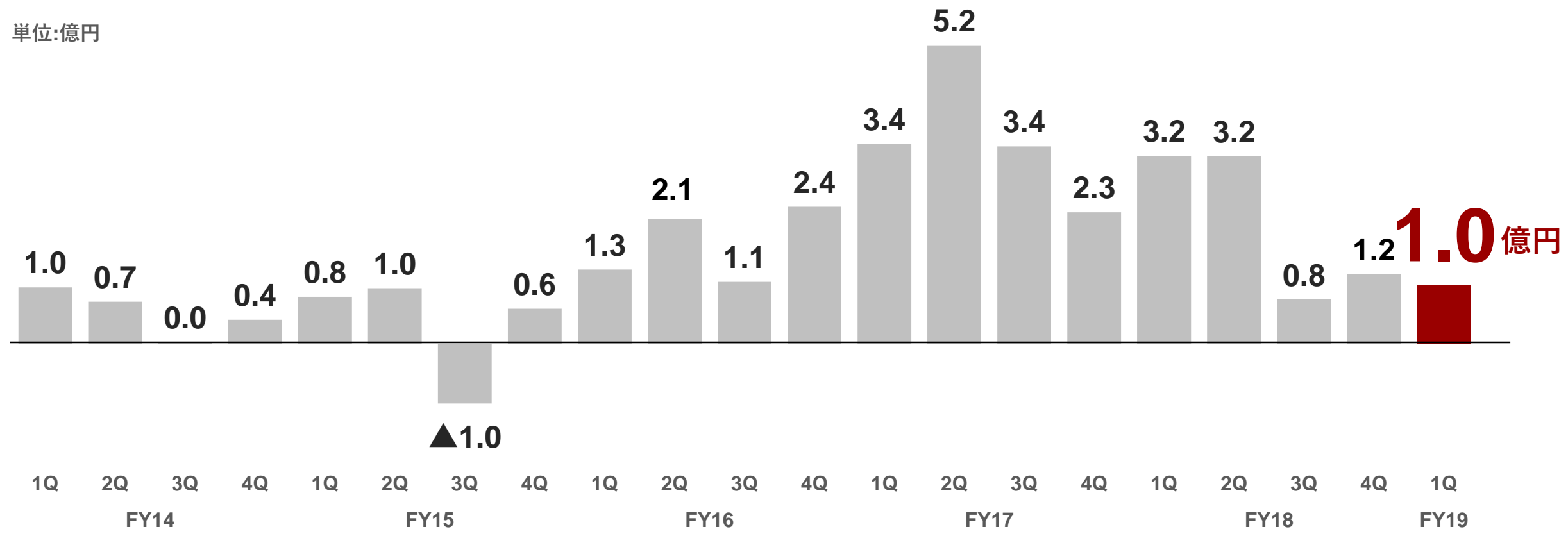
関連取扱額TOPメディアを除く売上では、 YonY:+59% QonQ:10%と順調に成長

- 連結修正
- Fintech等 新規事業
- 海外広告
- 国内広告_DMP
- 国内広告_DSP等(その他)

単位:億円



単位:億円

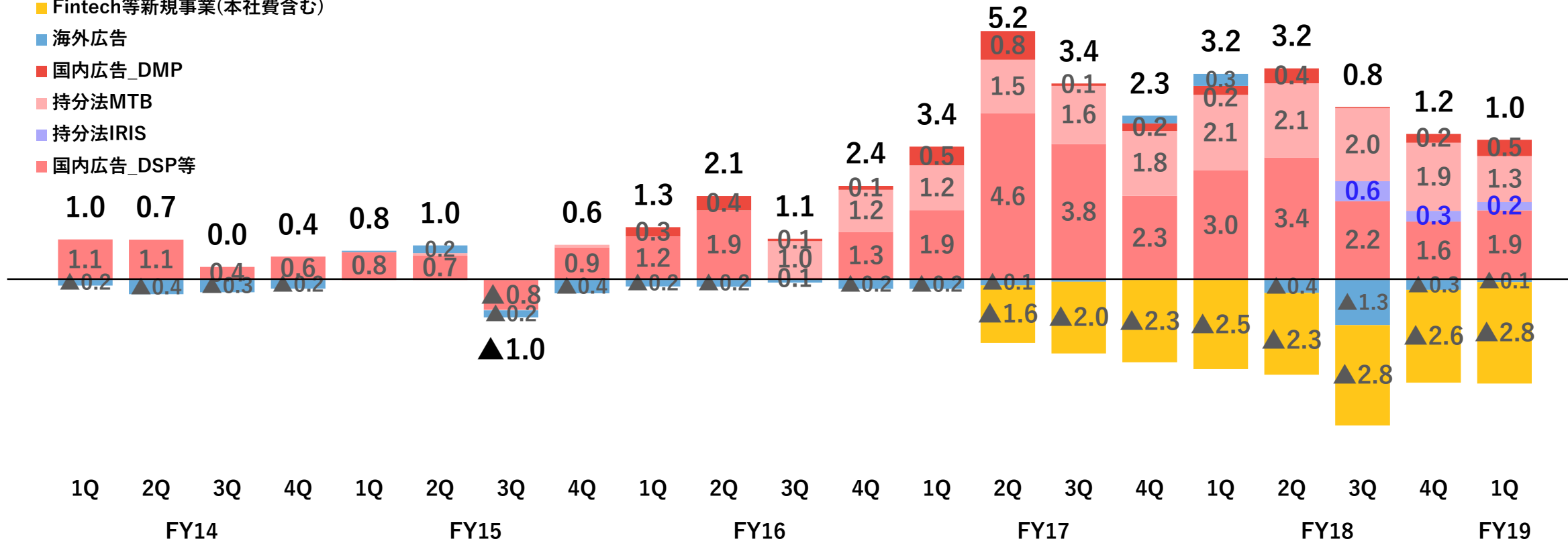


YonY：Playwire連結子会社化遅れや一過性コストにより減益

QonQ：国内広告DMPが再び成長軌道に

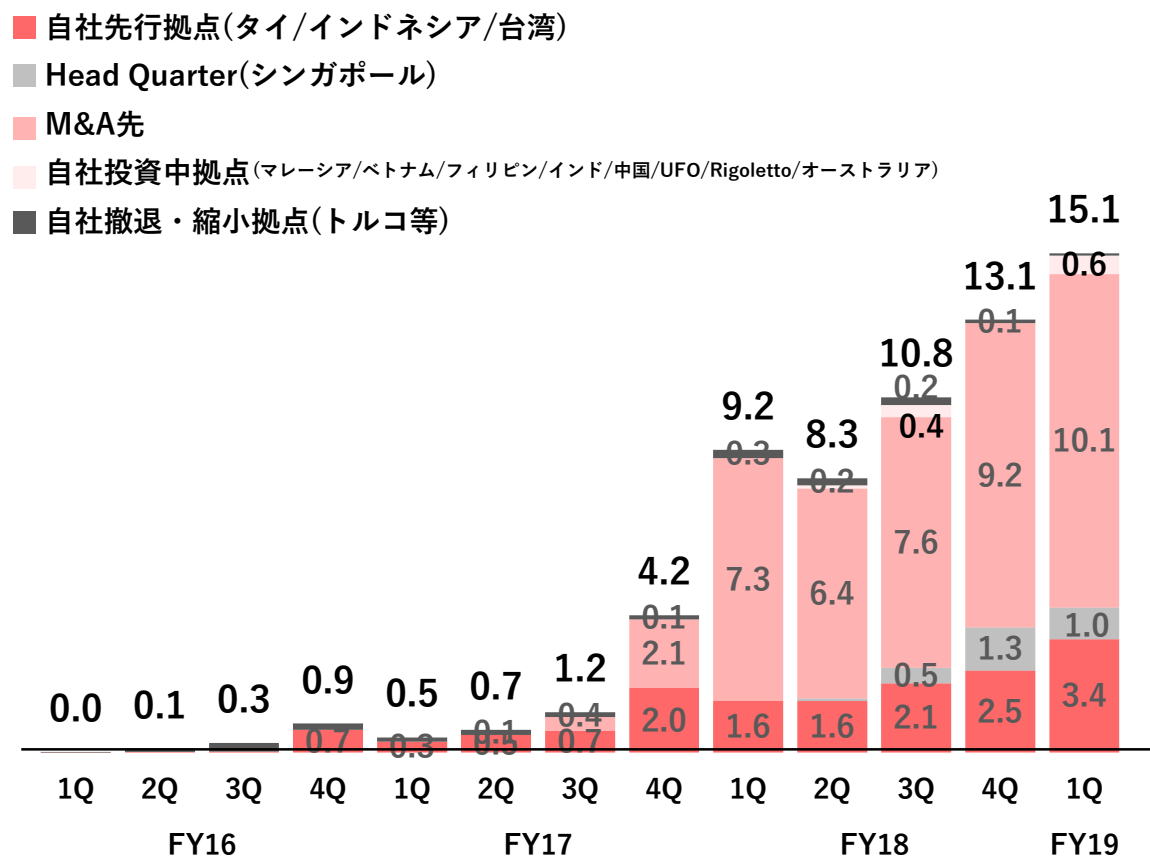
単位:億円

- Fintech等新規事業(本社費含む)
- 海外広告
- 国内広告_DMP
- 持分法MTB
- 持分法IRIS
- 国内広告_DSP等

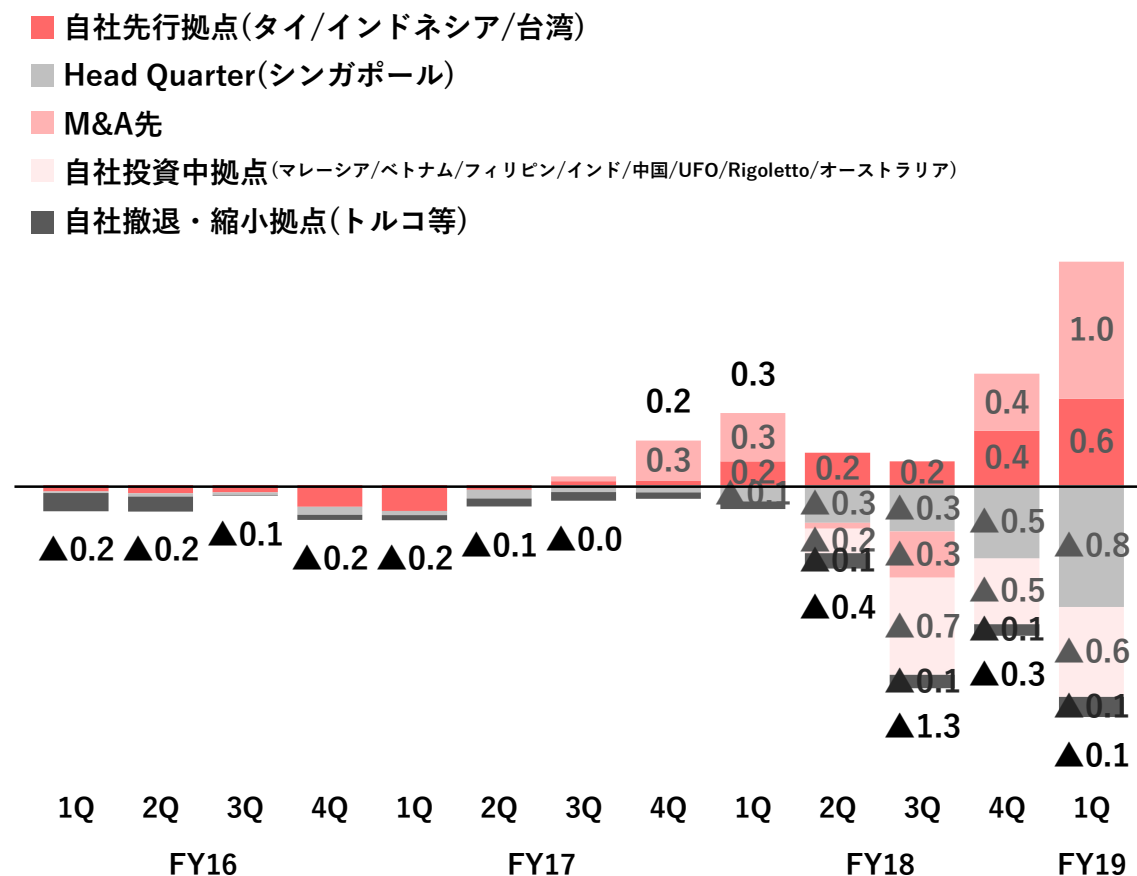


- 自社先行拠点及びM&A先については、順調に売上・EBITDA共に成長を継続
- Head Quarterであるシンガポール、及び、2017年以降進出の各拠点では投資を継続（△1.4億円）
- トルコについては政情の問題等もあり、縮小を進行中

売上 (単位:億円)



EBITDA (単位:億円)



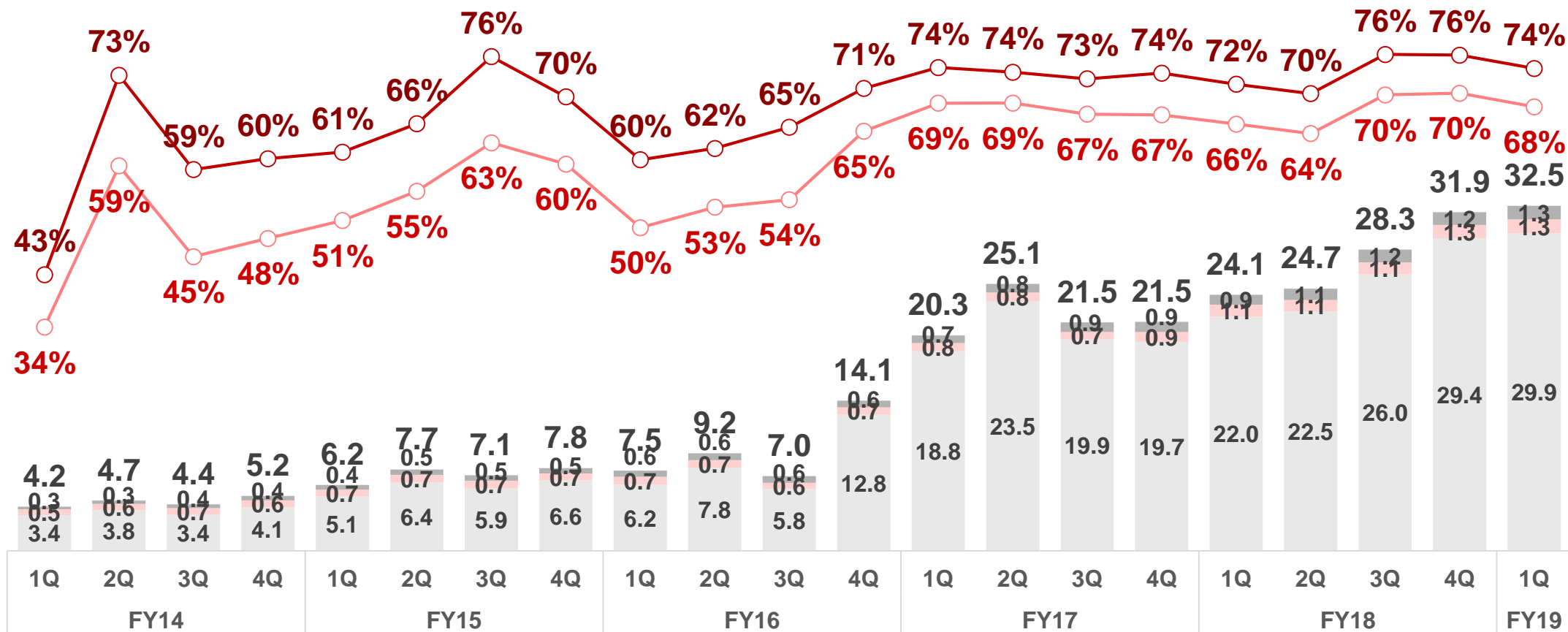
単位:百万円

	FY18				FY19
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
営業利益	1	▲6	▲304	▲224	▲171
持分法投資利益	210	206	257	218	151
のれん償却費	83	92	88	88	88
減価償却費	30	33	34	38	34
EBITDA	324	324	76	120	101
のれん償却費	▲83	▲92	▲88	▲88	▲88
減価償却費	▲30	▲33	▲34	▲38	▲34
その他(為替差損益等)	▲29	▲27	▲23	27	▲45
経常利益	183	172	▲69	21	▲65

【参考情報】 連結売上原価の推移

単位:億円

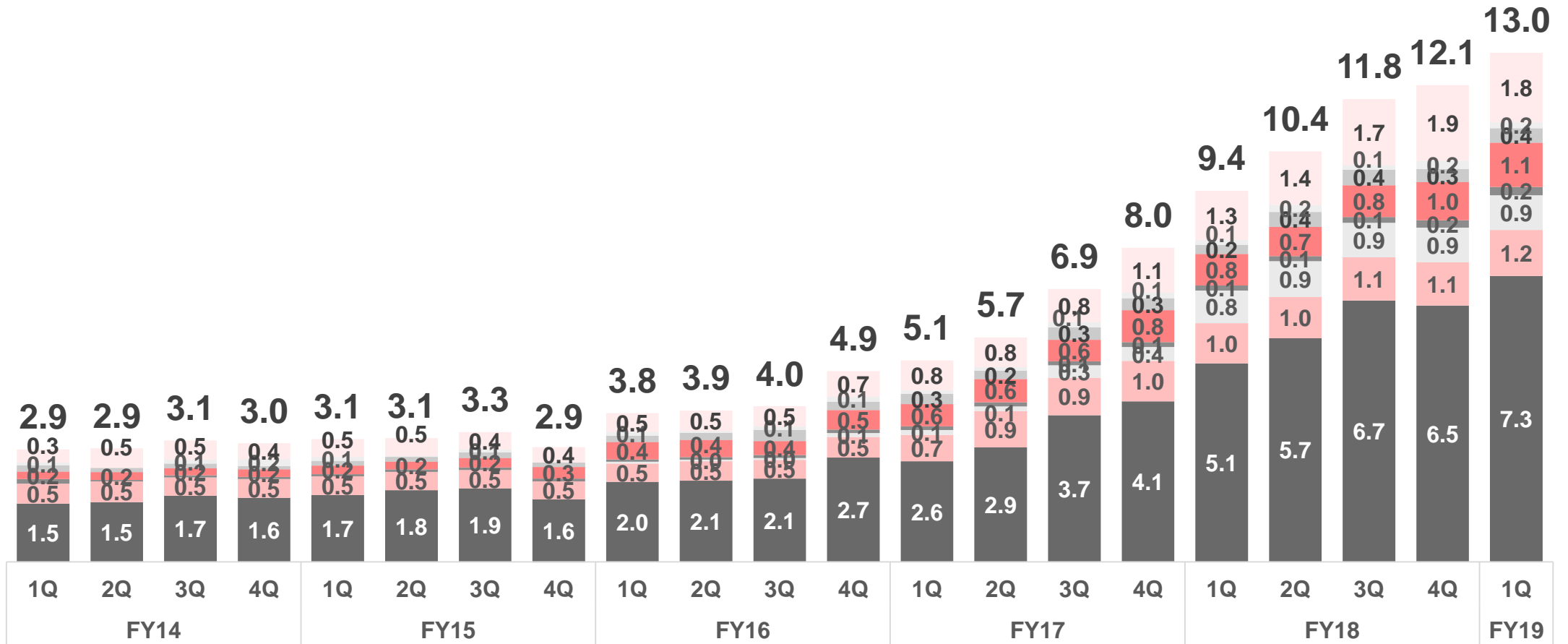
■ 変動費
 ■ 開発人件費
 ■ サーバー関連費
 ■ その他
 ○ 売上原価率
 ○ 変動費率



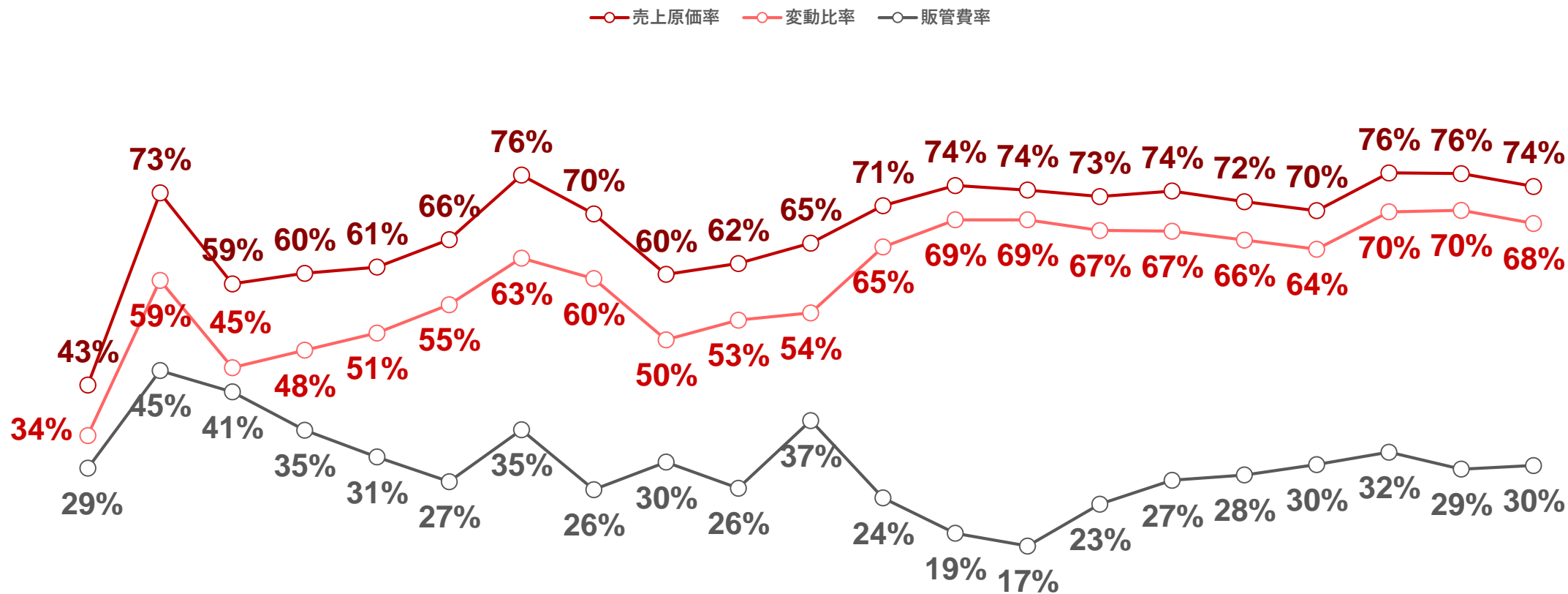
【参考情報】 連結販売管理費推移

単位:億円

■ 人件費 ■ 家賃・水道光熱費 ■ のれん償却費 ■ 減価償却費 ■ 外注・報酬等 ■ 採用費 ■ 販売費 ■ その他



	FY17	FY18	FY18	FY19
	4Q	3Q	4Q	1Q
国内広告_DSP等	139	157	160	161
国内広告_DMP	29	34	37	39
海外広告_自社拠点	37	68	109	124
海外広告_M&A	166	247	262	271
Fintech等新規事業	21	32	25	29
本社	25	28	31	33
合計	417	566	624	657



1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
FY14				FY15				FY16				FY17				FY18				FY19

- 主要指標である自己資本（純資産）比率及びNet Leverage Ratioの大幅な改善
- マーケットからの調達ではなく、事業シナジーを描けるパートナーとの提携に伴う調達であること、同時に開示したPlaywireの連結取込効果が見込まれることから、希薄化効果を顕在化させない形での調達達成
- さらに上記を活かして、1月31日付開示のとおりPlaywireの取得資金の流動化を実施

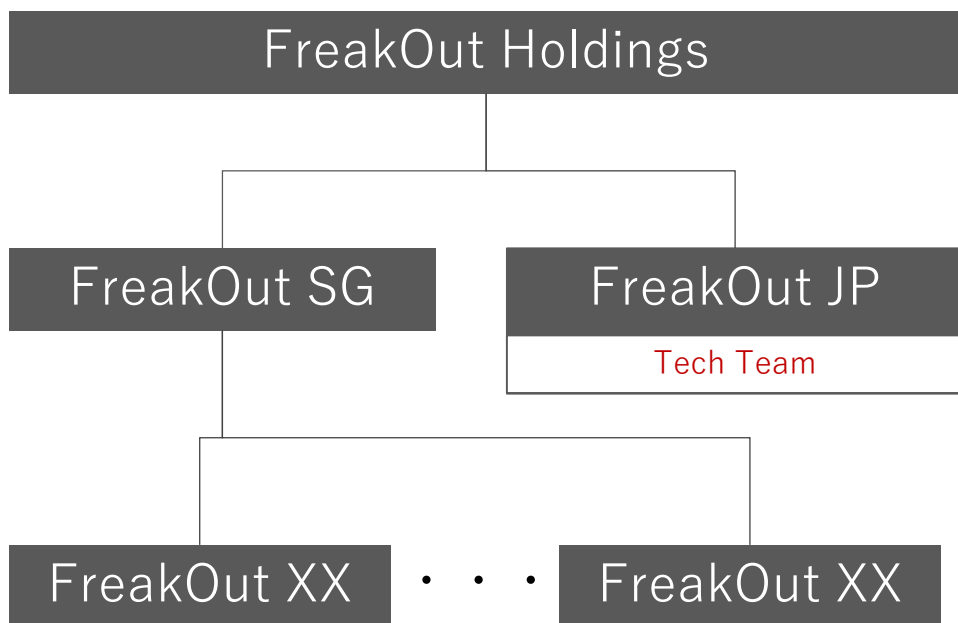
	増資前 (18年12月末)	増資影響	増資後
純資産	49.0億円	37.9億円	86.9億円
総資産	172.4億円	37.9億円	210.3億円
自己資本比率	28.4%	-	41.3%
純有利子負債	60.8億円	37.9億円	22.9億円
EBITDA (今期業績予想)	14億円	-	14億円
Net Leverage Ratio	4.3	-	1.6

Section2 事業の進捗について

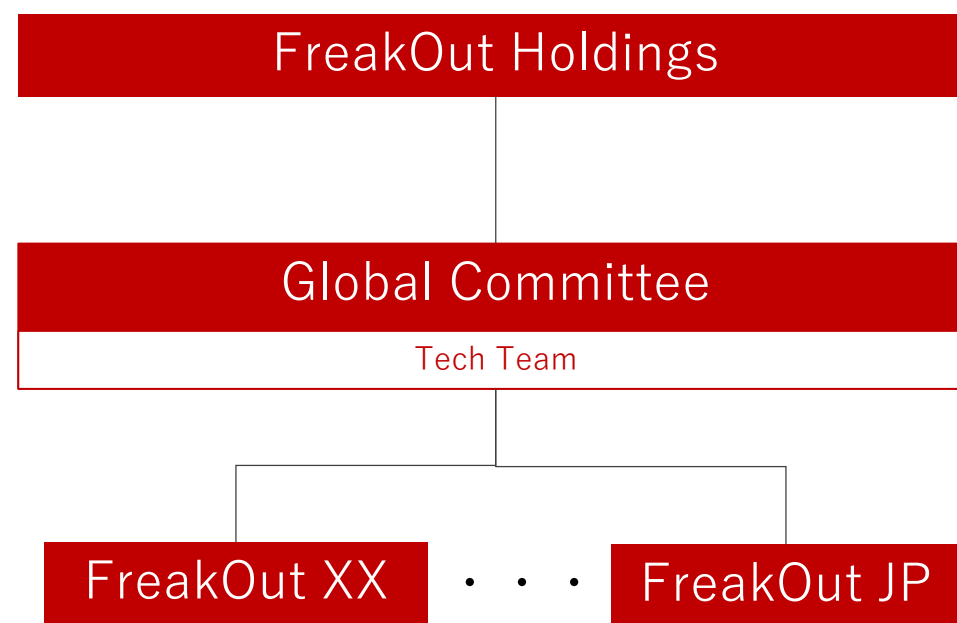
1. 広告事業

国内外統合的な意思決定を行うCommitteeを設置し、エンジニアリソースを中心とする経営資源を、全体最適の観点から配分することで、日本国内も含めたグローバル市場で競争力を高め、収益を最大化させるための経営体制へと変革。

統合前



統合後



米国 Playwire を当社の子会社、グローバル市場における戦略的パートナーとすることで、両社が保有するリソース、ノウハウ、ネットワーク等において相互補完的な利点を十分に活用し、戦略的シナジーのもと、相互の事業領域の拡大を目指す。



台湾子会社の adGeek を通じて、シンガポール、マレーシア、タイ、フィリピンにてインターネット広告におけるトレーディングデスク事業を展開する The Studio by CtrlShift を子会社化。
また Japan Desk を設置し、当社東南アジアにおけるグループ会社（EMC、InboundID、Digitiv、DotGF、Rigoletto）との連携したソリューションを提供し、東南アジア全域における日系広告主、総合代理店向けにインターネット広告のトレーディングデスクサービスを強化・拡充。



アプリマーケティングの専門商社「本田商事」を設立し、当社グループが展開する19ヶ国のソリューションとナレッジを活かし、アプリに特化したコンテンツビジネスのクロスボーダーPR支援事業及び海外メディア事業を提供。

また米国サンフランシスコを拠点に、Apple Search Adsの運用自動化ツールを広告主、広告代理店向けに展開する「Searchads.com」及び、アプリ検索最適化サービス「Mobile Action」を世界各国に展開するMobile Action, Inc. と資本業務提携を締結し、本田商事株式会社のグローバル展開における戦略的パートナーとすることを決定。



Section2 事業の進捗について

2. その他重要Topic



事業内容

高度なAI技術を開発するインド人エンジニアが集結して設立した企業。AIによりインターネット動画内の「ブランドロゴ」、「顔（有名人）」、「表情（感情）」等をリアルタイムで自動検出し、その動画のコンテキスト（＝文脈）に即した広告提供を可能にする「Mirrors」を提供

Global展開と収益化

インド中心の事業展開から、フリークアウトグループ出資後に、そのサポートのもと、東南アジア主要各国へ展開・早期収益化に成功

関連会社化

2017年夏頃 Silver Pushへの投資を開始
2019年1月 収益化のタイミングで関連会社化を決定
(損益の取り込みは当第3四半期からを予定)



[AdTech]



[FinTech]



[RetailTech]



- ・ 各領域を支える卓越したエンジニアリングの基盤
- ・ オンラインを中心としたビックデータ技術
- ・ デジタルサイネージの成功事例
- ・ グローバルでのビジネス展開

- ・ オフライン(小売店舗)のビックデータと店舗網
- ・ 広範囲な産業領域でのグループ展開
- ・ グローバルでのビジネス展開

当社テクノロジー基盤と伊藤忠商事が保有する膨大な有形・無形のアセットを活用
デジタルマーケティング領域で新規サービス共同開発や海外事業拡大等、
広範囲にわたり協業を実施予定

APPENDIX 1

会社概要

会社名	株式会社フリークアウト・ホールディングス			
設立	2010年10月1日			
資本金	14億3,375万円			
所在地	〒106-0032 東京都港区六本木6-3-1 六本木ヒルズ クロスポイント			
役員構成	代表取締役社長 Global CEO	本田 謙	取締役(常勤監査等委員)	柳澤 文夫
	取締役 新領域事業管掌	佐藤 裕介	取締役 (監査等委員)	高田 祐史
	取締役 広告事業管掌	安倉 知弘	取締役 (監査等委員)	渡辺 英治
	取締役CFO	永井 秀輔		
事業内容	グループ会社株式保有によるグループ経営戦略の策定・管理			
発行済株数	13,320,900株			
主要株主	本田 謙			39.57%
	ドイツ証券株式会社			5.10%
	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)			4.39%
	YJ1号投資事業組合 業務執行組合員 YJキャピタル株式会社			4.32%
	BBH(LUX) FOR FIDELITY FUNDS PACIFIC FUND			4.27%

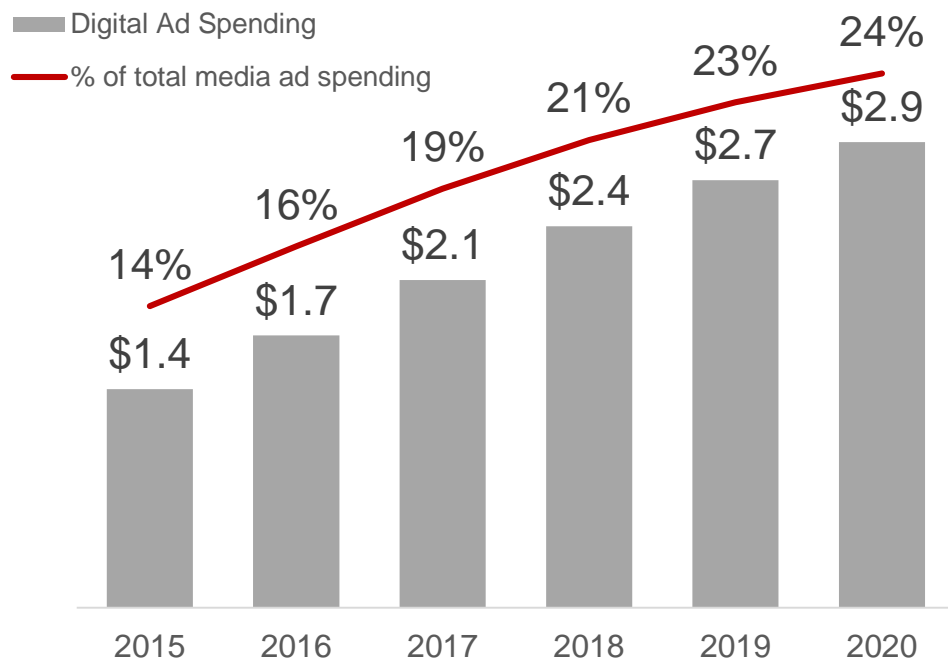
※2018年12月末時点

APPENDIX 2

市場規模

東南アジアにおけるデジタル広告市場は**継続的に拡大**
 広告市場に占めるデジタル広告費の割合は**上昇傾向**

Digital Ad Spending in Southeast Asia*, 2015-2020
 (billions and % of total media ad spending)



* Southeast Asia: Indonesia, Malaysia, the Philippines, Singapore, Thailand and Vietnam.

出所：eMarketer and IAB Singapore “Southeast Asia Ad Spend Forecast”

Digital Ad Spending Share of Total Media Ad Spending
 in Select Countries in Asia-Pacific, 2015-2020
 (% of total media ad spending)

	2015	2016	2017	2018	2019	2020
Taiwan	30.1%	35.8%	40.4%	44.6%	48.1%	51.0%
Singapore	16.9%	20.3%	23.8%	27.2%	29.6%	30.8%
Hong Kong	15.7%	18.4%	20.4%	21.8%	23.1%	24.0%
Malaysia	14.3%	17.0%	19.7%	22.3%	23.9%	25.2%
Philippines	13.1%	16.2%	18.7%	21.0%	22.9%	24.2%
Vietnam	13.0%	16.0%	18.4%	20.6%	22.5%	23.6%
Thailand	12.7%	15.1%	17.5%	19.8%	21.5%	22.7%
Indonesia	12.5%	14.8%	17.1%	18.8%	20.1%	21.5%

出所：eMarketer and IAB Singapore “Ad Spending in Southeast Asia”



FreakOut
Holdings

Give People Work That Requires A Person.